

霧ヶ峰の魅力的な景観形成（中間まとめ）

1 素材を磨く

「草原」「湿原」「樹叢」保全再生部会での検討を基に景観的にも美しい霧ヶ峰の自然を保全再生することにより、素材を磨く。

2 眺望を大切にする

建築物・構築物や屋外広告物等は、眺望や山の稜線を阻害しないよう配慮する。また、眺望を楽しむための優れた場所を選定、整備する。

3 建物、施設、屋外広告物のデザイン・色彩の調和を図る

建築物・構築物や屋外広告物等は、周囲の自然環境と調和したデザイン、色調とするよう配慮する。

4 魅力的なサインを統一的に整備する

道標、案内板等の魅力的なデザインを工夫、統一し、霧ヶ峰らしさと霧ヶ峰の空間の一体性を演出する。

5 景観にアクセントを加える

ピーナスラインを走行している車からふと目にとまるようなアクセントを景観に加える。

6 廃屋対策を検討する

県の観光部が設置した「観光地景観対策研究会」の議論を参考にしながら、廃屋対策を検討する。

7 不要となった古い看板等の撤去を行う

施設の更新等に合わせ、過去に設置され古くなったために景観上支障になっている看板を撤去する。

8 魅力ある道路景観を創出する

沿道の自然景観との調和を図りながら、魅力ある道路景観を創出する。

9 美化に配慮した景観づくりをする

利用者の美化意識の高揚を図り、ゴミの持ち帰りを徹底する。
地域住民や市民活動団体による美化活動を含め、地域全体で美化を推進する。

10 五感で感じる景観を形成する

視覚で感じる風景だけでなく、音風景や大気の肌触り、草原の匂い、花の香りなど、五感で感じる景観を形成する。